

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	コーティング車専用 赤シャンプー
会社名	株式会社ティーエムシー
住所	神奈川県横浜市緑区霧が丘 2-4-6
電話番号	045-924-3855
緊急連絡先	上記の住所、電話番号に同じ
作成・改訂	平成 21 年 5 月 19 日 (作成)

2. 物質の特定

単一製品・混合物の区別 : 混合物

成分及び含有量 :

成分	含有量(%)	化審法 No.	CAS. No.	備考
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩	13.5	(3) -1884	68411-30-3	PRTR 法
陰イオン界面活性剤	1.0~10.0	(7) -155	登録済み・非開示	
非イオン界面活性剤	1.0~5.0	(2) -827	登録済み・非開示	
グリコール系溶剤	1.0~5.0	登録済み・非開示	登録済み・非開示	
エタノール	1.0~5.0	(2)-202	64-17-5	労安法・通知物
キレート剤	1.0 未満	(2) -1265	64-02-8	
赤色素	微量	登録済み・非開示	登録済み・非開示	
混合防錆剤	微量	(9) -378 (5) -5235	26172-55-4 2682-20-4	
水	残部		7732-18-5	
合計	100.0			

3. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	区分 4
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	区分外
	自己発熱性物質	区分外
	水反応可燃性化学品	区分外
	酸化性液体	区分外
	酸化性固体	区分外
	有機過酸化物	区分外
	金属腐食性物質	分類できない
	健康に対する有害性	急性毒性(経口)
急性毒性(経皮)		分類できない
急性毒性(吸入:ガス)		分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)		分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)		分類対象外

	急性毒性（吸入：ミスト）	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分2A
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分1
	発がん性	区分外
	生殖毒性	区分1
	特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	区分2（肝臓）
	特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分1（肝臓）、区分2（神経）
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分2
	水生環境慢性有害性	分類できない

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：	危険
危険有害性情報：	可燃性液体 皮膚刺激 強い眼刺激 遺伝性疾患のおそれ 生殖能または胎児への悪影響のおそれ 肝臓障害のおそれ 長期または反復曝露による肝臓の障害 長期または反復曝露による神経の障害のおそれ 水生生物に毒性

注意書き：	<p>【安全対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 ・保護手袋、保護衣、保護眼鏡を着用すること。 ・眼、皮膚、衣服に付けないこと。 ・ミスト、スプレーを吸入しないこと。 ・取扱い後はよく手を洗うこと。 <p>【救急処置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皮膚についた場合、直ちに汚染された衣服や靴を脱ぎ、皮膚を流水で洗うこと。 ・皮膚刺激が生じた場合、医師の診断を受けること。 ・眼に入った場合、直ちに清浄な流水で15分以上注意深く洗うことコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗眼を続け速やかに眼科医の診断を受けること。 ・飲み込んだ場合、無理に吐かせずに水で口の中をすすぎ、直ちに医師の診断を受ける。 ・吸入した場合、直ちに新鮮な空気のところに移し、気分が回復しない場合は医師の診断を受ける。 <p>【保管】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供の手の届かないところに施錠して保管すること。 ・容器を密閉して正立で保管すること。 ・直射日光の当る所、温度が40℃以上又は0℃以下の所、水のかかる所、湿気の多い所は避けること。 <p>【廃棄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物業者に業務を委託すること。
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4. 応急処置

- 皮膚についた場合 : 皮膚についた場合、直ちに汚染された衣服や靴を脱ぎ、皮膚を流水で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断を受けること。
- 目に入った場合 : 目に入った場合、直ちに清浄な流水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗眼を続け速やかに眼科医の診断を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせずに水で口の中をすすぎ、直ちに医師の診断を受ける。
- 吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のところに移し、気分が回復しない場合は医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 小火災 : 二酸化炭素、粉末消火剤、散水、耐アルコール性泡消火剤
: 大火災 : 散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 特有の危険有害性 : 火災に巻き込まれると、水分が蒸発し引火性可燃物となり、蒸気は空気と爆発性混合気体を形成する恐れがある。
加熱により容器が爆発するおそれがある。
火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
初期消火剤で消化の効果がでない大きな火災の場合には散水すること。
- 特有の消火方法 : 区域より退散させ、爆発の危険性により遠くから消火する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

少量の場合は、ウエス等で拭き取る。多量の場合は、土砂等で流れを止め、出来る限り回収し、残分はウエス等で拭き取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 眼、皮膚及び作業者との接触を避ける。スプレー状で使用する時は、風上に立って作業する。取扱い後は、手洗い、洗顔を十分に行う。
- 保管 : 子供の手の届かないところに施錠して保管すること。
容器を密閉して正立で保管すること。
直射日光の当たる所、温度が40℃以上又は0℃以下の所、水のかかる所、湿気の多い所は避けること。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 取り扱い場所近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
- 許容濃度 : 設定されていない
- 保護具
- | | |
|------------|-----------------------|
| 呼吸器の保護具 | : ガーゼマスク又はそれ以上の性能のマスク |
| 手の保護具 | : ゴム手袋 |
| 眼の保護具 | : ゴーグル型一眼眼鏡 |
| 皮膚及び身体の保護具 | : 作業着、ゴム長靴、ゴム前掛け等を使用 |

9. 物理/化学的性質

- 外観・臭気 : 青色透明液体で、穏やかな特異臭を有する。
- pH : 7.0~8.0
- 粘度 (25℃) : 約9 mPa・s
- 沸点 : 100℃付近
- 凝固点 : 0℃以下

揮発性	: データなし
引火点	: 65°C (タグ密閉)
発火点	: データなし
爆発範囲	: データなし
可燃性	: なし
比重 (25/4)	: 約 1.01
溶解性 (水)	: 自由に溶混和する。

10. 安定性及び反応性

安定性	: 熱、光、衝撃に対して安定である。
反応性	: 通常、危険な反応はない。
避けるべき材質	: 鉄に対して水道水に近似した腐食作用がある。

11. 有害性情報

刺激性	: 眼に刺激があり、皮膚や粘膜に弱い刺激がある。
急性毒性	: 知見なし
慢性毒性	: 知見なし
がん原性	: 知見なし
変位原性	: 知見なし

生殖毒性	: 知見なし
催奇形性	: 知見なし

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境急性有害性	: 植物、水生生物に対して、高濃度で排出すると一過性の影響が考えられる。
水生環境慢性有害性	: 知見なし

13. 廃棄上の注意

内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。

14. 輸送上の注意

注意事項: 取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

国内規制:

陸上輸送	: 消防法、労安法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められている運送方法に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法	: 名称を通知すべき有害物 (法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表 9) エタノール
消防法	: 非危険物 可燃性液体類
毒物及び劇物取締法	: 該当なし
P R T R 法	: 第 1 種指定化学物質 No. 24 直鎖アルキル (C = 1 0 ~ 1 4) ベンゼンスルホン酸及びその塩 7.0%含有

記載内容の問い合わせ先 : 株式会社ティーエムシー
住 所 神奈川県横浜市緑区霧が丘 2-4-6
電話番号 045-924-3855

記載内容の取扱い : 記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しています。 注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。